

# SDGsの視点を踏まえた本市学校・園教育について

## 1 SDGsとは

SDGsとは、「持続可能な開発目標」と訳され、国連加盟国が合意した2030年までに達成することを目指した17の国際的な目標です。



## 2 本市とSDGsとの関わり

本市はこれまで、公害克服の経験やものづくりの技術などの強みを生かした課題解決に取り組んできました。その結果、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市として、平成30年4月にOECDにより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に、また同年6月に「SDGs未来都市」および「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。

## 3 SDGsの視点を踏まえた本市学校・園教育の推進

### (1) SDGsの理念「誰一人取り残さない」

教育現場においては、「誰一人取り残さない」という視点をもち、

- ・特別支援教育をはじめとした障害のある子どもへの対応
- ・いじめ、長期欠席（不登校を含む）等へのきめ細かな対応
- ・外国人、LGBTなどへの適切な対応 など

課題や困難を抱える子どもを取り残すことなく、取り組んでいくことが大切です。

### (2) これまでの本市学校教育の取組

#### ① ユネスコスクール推進指定校による取組

本市ではこれまで小学校8校、中学校7校がユネスコスクール推進指定校として、SDGsの視点を踏まえ、取り組んできました。

指定校は、SDGsの視点である「環境」「国際理解」「平和」「人権」などを踏まえ、取り組んでいます。その取組については、報告書にまとめていますので、参考にしてください。

#### 【ユネスコスクール推進指定校】

- 小学校（藤松、藍島、市丸、すがお、赤崎、大蔵、竹末、鞆ヶ谷）
- 中学校（早鞆、菊陵、湯川、高須、尾倉、黒崎、中原）



② 各学校・園の地域の特色や課題に応じた取組

下のイメージ図のように、本市の学校・園では、地域の特色や課題をとらえた取組をすで実践しています。

**まずは、そうした取組がSDGsにつながっていることを教師が認識し、子どもたちに伝えていくことが大切です。**

SDGsの視点を踏まえた本市学校教育のイメージ



目標4「質の高い教育を本市全ての子どものために」

■SDGsへのアプローチ（例）

視点	取組内容	ゴール（目標）
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験を通して、本市の自然環境・環境保全についての理解を深め、実践力を高める。</li> <li>「わが街わが園の環境作戦」「ごみO運動」「地域の自然を生かしたOOづくり」</li> </ul>	
国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流活動を通して、異文化理解を深め、共に生きようとする態度を育む。</li> <li>「英語であそぼう」「オリパラ」</li> </ul>	
ふるさと	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市のまちのよさについての理解を深め、誇りと愛情を育む。</li> <li>「伝承文化に触れよう（太鼓・祭り）」</li> </ul>	
人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権に関する理解を深め、自他共に大切にする心情を育む。</li> <li>「人権教育教材集『あそぼう』の活用」「お誕生日会」</li> </ul>	
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験や交流活動を通して、共に生きようとする態度を育む。</li> <li>「高齢者とのふれあい昼食会」</li> </ul>	
キャリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く人と関わる体験活動を通して、働くこと、働く人について知る。</li> <li>「買い物体験」「お店やさんごっこ」「ごっこ遊び」</li> </ul>	
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器の活用を通して、情報活用能力を育む。</li> <li>「DVD等、視聴覚教材の活用」「保育の振り返りスライドショー」</li> </ul>	

SDGsの視点に立った教育活動で育成する資質・能力

- 自分事として課題を捉える力
- 進んで参加する態度
- 他者と協力する力
- つながりを尊重する態度
- コミュニケーション力
- 多面的・多角的・総合的な思考
- 未来像を予想した立案力
- 批判的に考える力